



読字 原田 親

No. 653

2011/11/15

# 日中友好新聞

発行所  
日本中国友好協会  
〒110-8555 東京都千代田区  
西船場1-1-1 東武ホテルビル

日中友好協会  
岡山支部  
〒700-8258  
岡山市東区3-8-30 511  
TEL:0861272-3010  
郵便番号11所  
01250-0-3835

日中友好協会  
倉敷支部  
〒712-8914  
倉敷市連島中央1-8-1  
(宮地方)  
TEL/FAX:0860446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ  
<http://rizhong.web.infoseek.co.jp>  
メールアドレス  
rizhong86@hotmail.co.jp



## 第37回中国料理教室

### 終始なごやかに点心づくり

11月6日、第37回の中国料理教室を岡輝公民館で開きました。

今回は内モンゴル出身の馬小菲さんを講師にお迎えして開催、16人の参加でした。

料理はおなじみの点心の中から5品を作りました。

点心は主菜と中華スープ以外の料理をさしていますが、中国でいう点心は間食やお菓子、軽食類も「点心」というので、私たちが思っている以上に多種多様ということです。その中から日本人に人気の高い、小籠包、蒸餃子、焼売、そしてバナナと



貝吹佳代子

小豆餡を包んだ春巻、それに中華風ナルトです。中華風ナルトは豚のミンチにニンニクのみじん切りをたっぷり加えた餡を薄焼き卵で巻いて油で揚げます。それから、春巻き以外は小麦粉で皮からつくるので、麵棒の使い方や小籠包の餡を詰めて閉じるときなど、なんで馬先生のように、きれいに出来ないの」と四苦八苦しながらも、熱々を食べるときはとてもおいしかったです。そしてこの日は中国帰国者の山根さんや馬さんの京都の彼も参加し、終始なごやかに終えることができました。

## 医者もたりない看護師も

### —小坂さんパート⑦を読んで—

お医者さんの過労死が問題になるほど、医者が不足しているのだから。国民のためになる医師をふやせばいいのにと、思う。世界の中で、日本は医師の数が、どのくらいなのか、調べてみよう。

便利なものがある。世界の

## 中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会

### 第1回役員会

小林軍治

10月25日、岡山合同法律事務所で、中国帰国者の尊厳を回復する岡山の会は、第一回役員会を開いた。参加者は、帰国者二人(高杉・平本)、弁護士三人(奥津・秋山・則武)、日中関係三人(竹内・小林・井上)と通訳(馬)の九人であった。

会は、6月18日の結成から、7月1日の会への参加のおねがい文の作成・送付について報告した。また、7月11日の細川厚生労働大臣との面談について、東京の第四回中国帰国者市民連絡会議報告をもとに説明した。(二〇一一年の配偶

統計』総務省統計局発行)2011年版を、さっそく見る。人口千人あたりの数が出ている。日本は2.1人である。78の国の数が出ている。(アジア23国、アメリカ大陸12国、ヨーロッパ27国、オセアニア2国)人口千人当たり6.4人もいるキューバが第一

者収入認定問題及び二・三世の支援策など」の要望書をもとに、弁護士、原告団及び配偶者が参加し話し合う。) 次に会員拡大、帰国者の生活相談、財政活動などについて協議した。

会員は、現在の三〇人を五〇人にする。 倉敷在住の弁護士への加入を呼びかける。 帰国者の生活相談会は、二〇一二年の厚労大臣面談(六月か七月予定)に反映させたい、四月〜五月に、岡山と倉敷の二カ所開きたい。

位。5人以上いる国は、ギリシ

ヤ。4人以上いる国は、ウルグアイ、スイス、ベラルーシ、ベルギー、ロシア。3人以上いる国は、

イスラエル、北朝鮮、アルゼンチン、アイルランド、イタリア、ウクライナ、オーストリア、オランダ、スウェーデン、スペイン、チェコ、デンマーク、ドイツ、ノルウェー、フィンランド、フランス、ブルガリア、ポルトガル。2人以上いる国は、ヨルダン、アメリカ、メキシコ、イギリス、クロアチア、スロベ

財政活動としては、日中のカレンダーを五〇部販売する。 また、バザーなどに取り組む。特にバザーは、財政活動だけでなく、会の存在を知ってもらい、新・新支援策の必要性を訴える場ともなる。具体的な日程については、次の役員会で決める。

県内の自治体や国への要請行動は、中央の政治情勢を見ながら決めていく。 最後に高杉さんから、次のような発言があった。 孤児たちは、みんな高齢になり、会の必要性は理解しているが、活動への参加が困難になっている、この点をよく理解してほしい。」。

そして、次回、当面の日程などを確認しました。



左から 平本、高杉、井上、竹内、馬、則武、奥津、秋山

世界地図で調べてください。 日本の医師数は中・後進国でしようか?

竹内和夫



# 総社日本語教室

## 移動研修(日生)に参加して

十月七日、総社教室が利用している常盤集会所主催の「移動研修」に今年も参加しました。

八月二日に中国残留日本人孤児のお話(28名参加)を常盤集会所講座生対象に日本語教室生徒二人が講演をしていました。顔見知りもできていたせいか、声かけ、質問、自身の戦争時経験など話しかけをしてくれる方が多くいました。

後日、富岡さんが「見てくさい」とパソコン打ちの原稿を教室に持って来られました。この文章を書くためにどれほど中日辞書を駆使されたことでしょう。助詞など多少添削をしましたがご紹介します。(西森文子)



十月七日に、常盤集会所利用の皆さんと日本語教室の西森先生と日本語教室生徒が、一緒に移動研修で備前市日生町へ行きました。一定刻の八時半にバスが発行しました。以前、家内は、車に乗ると酔いやすいので、常盤集会所の職員が家内を一番前に座らせてくれました。本当にありがたうございました。バスの中は十時くらいに日生町に到着しました。町の看板には「太陽と海と緑の道」と書いてありました。

まず、加子浦歴史文化館を見ました。日生は、寒河・日生諸島等集落からなっています。日生の島々には二万数千年前から人々が住んでいました。新石器時代に人も住んでいました。製塩や漁業で栄えたところ。日生には、昔から有名な文人や作曲家、画家が多くいました。あと、五味の市、魚市場へ行きました。家内は蟹を買いました。他の人は、自分で自分の好きなものを買っていました。昼前に定期船に乗

りました。海の風がとても涼しかったです。いい気持ちでした。十二時二十分くらいに頭島へ到着しました。皆まで歩いて「よしこのや」という民宿旅館に行きました。その旅館で昼ご飯を食べました。私はその料理がとても美味しかったです。帰る途中「本松」という道の駅へ寄りました。五時に常盤集会所前で皆さんと別れ自分の家に帰りました。一日楽しかったです。常盤集会所の職員と参加の皆さんと西森先生ありがとうございました。

心は、2007年3月上旬に予定より1カ月早く生まれ入りました。そのため二・三日保育器に入っていました。その後の成長が気になりました。1才半くらいまでは、歩きはじめたりする動作や話すことばの数などほかの子に比べて成長は、ゆっくりしていたようです。心が2歳半の2年前にフランスに行きました。娘にその後の成長ぶりについてききました。保育園ではみんなと仲良く遊び、医者への検診でもどこにも問題なく順調に大きくなっているとわれ、安心しました。4歳半になった今回は、心の成長(やんちゃ)ぶりに驚かされました。家の中では、ギターを抱え歌ったり、幼稚園

で覚えたての踊りを踊ったり、寝ている時間以外は「じっと」していません。外の公園では、自転車に乗って勢よくこぐうしろ姿は、男の子のようです。かけっこをして、心に追いつくのは大変で、ジジババは息切れするほど元気いづばい。身長、体重も同年代の子の平均くらいになり、話す言葉(フランス語・日本語)も多くなりました。40日間も相手を少々疲れました。

娘にどうして「心」という名前を付けたか聞きました。生まれてくる子の名前を考えている頃に、婿のミカエル君が聴いて

### 心(COCOLO)の誕生と成長

#### 小林軍治の

#### フランス(法国)滞在記



### 中国語講座 懇親会に参加して

受講生 小澤秀敏

#### 懇親会で学んだ事

以下は、竹内・小林両先生のお話から、自分なりに考えた、上級者の学習姿勢です。

1. 学習対象への興味の持続と、明確な動機・目標の設定
2. 特定教材による計画的な学習の完徹
3. 積極的な学習機会の設定
4. 長期的・日常的な学習の継続

自分など、努力不足を棚に上げ、教材をやたらに変えたり、無目的に勉強しているので、当たり前ですが、大家の先生方は凡人とは違うと、改めて思いました。

### 第43回全国きりえコンクール・ポストカード

## 秀作きりえ集

日本中国友好協会が毎年開催している全国きりえコンクール。第43回の優秀作12作品がポストカード(絵葉書)になりました。

☆定価 1,000円(カラー・12枚)

日中友好協会岡山支部 ☎ 086-272-3010



ミカエル君は、「心」という言葉が気に入って、娘も日本人とフランス人の間に生まれた子供に「心」とか「愛」という字が多いこともあり決めたそうです。

私たちも、この心という名前が好きです。私たちは、心の名前を呼ぶ時の声調は、普通に呼ぶ時は一声、叱るときは四声になります。ミカエル君の両親(パパ・ママ)とわりわけママは、心をかわいがり、甘く、やさしく最後の「ろ」が二声になっています。

次に生れてくる子どもには、どんな名前を付けるのか楽しみです。註①監督は宮崎駿の息子、宮崎吾朗で、二〇〇六年七月に公開されています。なお、この曲の歌詞は、萩原朔太郎の詞「こころ」に着想を得て作詞されたそうです。

次回の新聞送付作業は11月21日(月)午後1時半、民生会館2階で行います。前回お手伝いくださった方です。

小林和  
内内和  
竹内口  
谷井垣  
谷坪三